

## 令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	う え む ら と み あ き		
氏名	植村 富明		
所属・役職	丹波篠山市教育委員会 情報化専門員 NPO 法人関西情報化維新協議会 監事		
活動拠点	丹波篠山市役所		
略歴	1979年 国立神戸大学法学部卒業 1980年 篠山町役場入庁 1999年 篠山市総務課情報システム係長 2010年 篠山市総務部長 2017年 定年退職し、再任用職員として篠山市防災官・情報政策官 2019年 篠山市教育委員会教育研究所 情報専門委員		
地域情報化の 専門分野・技術	農業・観光など地域の産業、地域の気象防災情報などをデータベース化してサイトで情報発信		
専門分野	教育情報化／情報教育 ICT 活用広報		
自治体向けメッセージ	農業や観光など地域の活性化につなげられる地域の情報化を。地域の文化資源をおもしろくてちょっと役立つ情報発信に。 現在、SNSにより瞬時に大量の地域に関する情報があふれています。玉石混交のなか、信頼してじっくり見てもらえる情報発信も必要ではないでしょうか。ややもすると無機質になりがちな自治体の情報を魅力の地域情報のデータベースに。		
関連サイト	丹場篠山特産物料理レシピ集 <a href="https://kuromae.sasayama.jp/">https://kuromae.sasayama.jp/</a> 丹波篠山気象情報 <a href="https://weathernew.sasayama.jp/">https://weathernew.sasayama.jp/</a> はるなつあきふゆ あそぶつく <a href="https://asobook.sasayama.jp/">https://asobook.sasayama.jp/</a>		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	1980年代後半から90年前半にかけて独学で覚えたデータベース言語により起債、予算決算書作成システム、肥育牛管理システム、農用地貸借管理システムなど作成。 90年代半ばからはインターネットが普及したことから、いち早く自治体のホームページ作成に注力。 兵庫県篠山町公式ホームページ「丹波篠山へのいざない」は、1999年4町合併を経て、篠山市の公式ホームページとなった。それはもともと行政情報のページというより地域のあらゆる情報を掲載し、データベースのようなものを目指していた。 2001年日経インターネットアワード日本経済新聞社賞、2003年全国広報総務大臣賞、読売新聞社賞等、自治体に関するあらゆる賞を受賞。  1994年4月平成の大合併に先駆けて篠山市が誕生し、新設された情報部門の初代の係長に就いた。手探り状態の中でのシステム統合であったが、先例として全国に伝えていくこと	

		<p>になった。</p> <p>情報部門の業務は、行政業務のの情報化と合わせて農業、観光など産業振興のための地域情報のデータベース化に取り組んだ。</p> <p>地域の情報化として自治会など市民組織のサイトづくり支援、ポータルサイトや自治体 SNS を構築してきた。</p> <p>これらシステムは独自開発のほか、先進自治体の技術によるところが多い。</p> <p>特に県内にある超先進自治体であった西宮市から全面的な技術支援を受けて、被災者支援システム WEB GIS 丹波篠山道知る兵衛 を運用した。</p> <p>自治体間の連携を積極的に進め、2005 年には、本市が監事市となって西宮市、大阪府豊中市、羽曳野市、交野市、京都府宇治市、八幡市、千葉県市川市とで LASDEC の共同研究「サイバーシティー」をおこなった。</p> <p>こういった経緯も踏まえ、関西の自治体と民間企業による ICT 推進を目指した NPO 法人関西情報化維新協議会の設立に参加。</p> <p>これ以外には兵庫県ニューメディア協議会幹事を退職までつとめた。</p> <p>定年退職後、丹波篠山市教育研究所において GIGA スクール構想、学校ネットワーク構築、教育の情報化に技術支援をしている。</p>
	<p>これまで に関与し た地域情 報化に関 するプロ ジェクト</p>	<p>1999 年平成の大合併 篠山市のシステム統合と運用</p> <p>2000 年 2003 年 2 度の地域イントラネット構築</p> <p>2003 年 地域の光ファイバー網整備推進運動</p> <p>2005 年 LASDEC 共同研究</p> <p>関西情報化維新協議会設立に参加</p> <p>兵庫県電子自治体推進協議会 電子申請分科会副部長</p> <p>丹波篠山市 GIGA 構想学校高速ネットワークの構築</p>